

入試問題を解いてみよう!

算数(中学)

- 5 下の図のように、マス目に以下の手順で記号○、●を入れていきます。
- ・1番上の行のマス目にはすべて○を入れる。
 - ・1番左の列のマス目にはすべて○を入れる。
 - ・それ以外のマス目には、左のマス目と上のマス目に同じ記号が入っているときは●を、異なる記号が入っているときは○を入れる。
- 例えば、2行目2列目のマス目には、左のマス目にも上のマス目にも○が入っているため、●を入れます。

	1列	2列	3列	4列	5列	6列	7列	8列	...
1行	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2行	○	●							
3行	○								
4行	○								
5行	○								
6行	○								
7行	○								
8行	○								
...									

このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 4行目4列目までの16個のマス目には○と●がどのように入れられるか、【解答らん】の空らん部分に○、●をかきなさい。
- (2) 16行目16列目までの256個のマス目に○と●を入れたとき、その中に含まれる○の個数を求めなさい。
- (3) あ 行目 あ 列目までのマス目に○と●を入れたとき、○の個数が1000個以上になります。 あ にあてはまる数の中で、最も小さいものを求めなさい。

国語(高校)

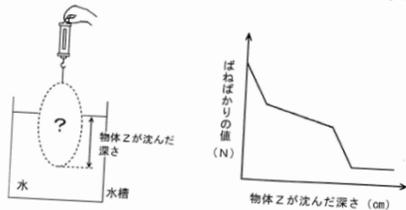
- 四 次各文の線のカタカナを漢字に直しなさい。
- 1 花がホコロぶような笑み。 気力を奮って試験にノゾむ。
 - 2 ジンソクな対応をとる。
 - 3 ボウセキ工場を見学する。
 - 4 ショウソウに駆られる。

ICHIKAWA GAKUEN

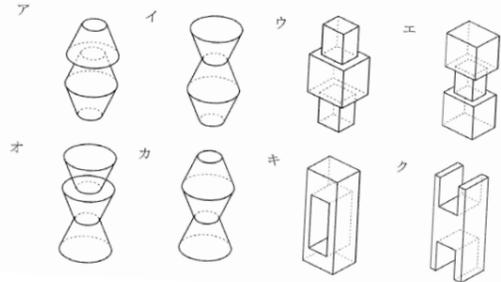
学校 市川学園
法人 市川中学校・市川高等学校

理科(高校)

図5のように、ばねばかりにある形の物体Zをつくり、水中に静かに沈めていきます。図6は、物体Zが沈んだ深さとばねばかりの値の関係を表したグラフです。



(7) ばねばかりにつるした物体Zの形状として考えられるものを2つ選びなさい。



国語(中学)

- 三 次各文の線のカタカナを漢字に直しなさい。
- 1 浅学ヒサ伊の身ですが全力をつくします。
 - 2 亡父のイシを継いで医者になった。
 - 3 経済成長を金科ギョクジョウとしていた時代。
 - 4 亀の甲より年のコウ。
 - 5 全国でも有数のケイシヨウ地。
 - 6 次の種目は徒キョウソウだ。
 - 7 中流カイキョウの家庭で育った。
 - 8 環境問題を標題とするコウエンを聞きに行く。



学ぶ喜びと生きる力を大切にする



教育理念

個性の尊重と自主自立

市川学園では、個性の尊重と自主自立を教育方針としています。これを明確に打ち出すべく、『独自無双の人間観』『よく見れば精神』『第三教育』の三本の柱を立て、生徒一人ひとりの個性を見つめ育て、生徒が自分で自分を教育していく喜びと出会えるよう導いていきます。



創立者 古賀 米吉 (1891~1983)

独自無双の人間観

人生はたった一度です。人は似ているようで皆違います。素晴らしい個性、特色、持ち味があり、異なった可能性を持っているのです。人間とはかけがえない個性を持つものだという価値観が、市川学園の教育の基盤になっています。

よく見れば精神

「よく見ればなつな花咲く垣根かな」(芭蕉)という句があります。目立たない花にも、よく見れば他の花と比べることができない独自無双の美しさがあります。教師が生徒一人ひとりをじっくりとよく見ることで、生徒に潜在している個性や能力を引き出します。

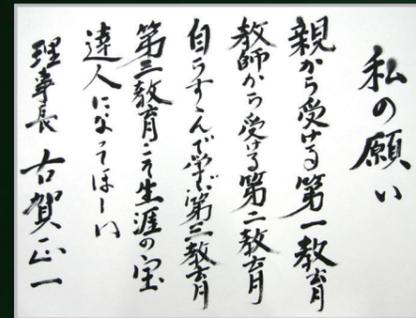
第三教育

家庭で親から受ける第一教育、学校で教師から学ぶ第二教育に対し、市川学園では自ら意欲的・主体的に学ぶ第三教育こそが生涯続く学びの力と考えています。生徒主体の学園生活を通じて、「自分で自分を教育する」第三教育の力(自学力)を磨きます。



第三教育

自分で自分を教育する「第三教育」



理事長・学園長 古賀正一 書 (第三教育センター蔵)



市川学園の教育理念である「第三教育」は、自ら進んで生涯学び続ける力であり、生徒たちの成長を支えるものです。そこで図書館を、「第三教育」を身につけ具現化するための「道場」として捉え、「第三教育センター」と呼んでいます。

市川学園で学ぶ生徒一人ひとりが、持って生まれた良いところを存分に伸ばすことが、第三教育の根幹になります。

品格あるリーダーの輩出をめざし常に進歩する学園

市川学園理事長・学園長 古賀 正一



人間はみな特色ある唯一の存在であるという「人間観」、一人ひとりをよく見て特色を伸ばす「なすな教育」、自ら学び考える「第三教育」は、不易の建学の精神です。教育基本方針として「リベラルアーツ教育」を中核に、理文の「真の学力」、知に立脚した「教養力」、論理的思考のできる「科学力」、グローバル社会に生きる「国際力」、徳を実践する「人間力」の5つの修得を目標としています。

多くの国内・国際研修、各分野の識者による土曜講座、哲学書を読み対話する市川アカデミア、リベラルアーツゼミ、SSH校としての課題研究、各種の学外コンテスト、発表の場であるアカデミックデイなど、自主的に選択し学ぶメニューが沢山あります。よき先生、切磋琢磨する友人、多くの本との出会いは、かけがえのない宝です。大きな夢と高い目標を持ち、本当に自分のやりたいことを発見し、「いかによく生きるか」を探究してください。日々自身が進歩成長していることを実感し、学園生活を楽しみましょう。

学園生活を楽しもう

市川中学校・市川高等学校 第十二代校長 及川 秀二



創立以来、本校では学校とは「良好な人間関係と快適な環境の中で生徒・教師共に進歩し『楽しい学園生活』を送る場である」としてしています。では、本校が考える「楽しさ」とは…

- 知る楽しみ…授業で知識を得る。実験・実習でものごとを探究する。課外講座・ゼミで専門家から最先端の知を学ぶ。学園生活は日々発見に満ち、生徒の知的好奇心を刺激します。
- 人とつながる楽しみ…クラブ活動で切磋琢磨する。イベントの企画を練り運営する。異文化や多様性を理解する。学園生活は人の気持ちに寄り添う共感性を育みます。
- 成長を実感する楽しみ…議論や対話から新しい視点を知る。課外活動に参加し自分を試す。進路を開拓する。蓄えた知識は、経験を通して知性・人格に昇華します。その過程が成長であり、成長は自己回転の推進力となります。この自己回転が第三教育です。学園生活は第三教育の達人を育成します。

学校は学びの場であり、喜びや楽しみに満ちたものです。学園は生徒に「居場所」を用意し、成長の後押しをしています。皆さんも、市川学園で楽しい学園生活を送ってください。

第三教育センター

蔵書は約12万冊。開館時間は7:00~18:00。毎年2,000~2,500冊の書籍が新たに購入・寄贈されています。コンピュータ管理により貸出・返却もスムーズです。

図書委員の生徒たちも貸出業務、選書、読書フェアの企画等、第三教育センターでの読書推進に積極的に関わっています。

市川学園100冊の本

価値のある本に出会いきっかけとなることを願って、中学・高校生時代の読書体験に最適な古今東西の名著、必読の書を教職員が選定し、中学・高校それぞれ100冊を揃えました。

中学	高校
『西の魔女が死んだ』 梨木 香歩	『人間失格』 太宰 治
『博士の愛した数式』 小川 洋子	『アルジャーノンに花束を』 ダニエル・キイス
『ローマ人の物語』 塩野 七生	『寝ながら学べる構造主義』 内田 樹
『星の王子さま』 サン＝テグジュペリ ほか	『夜と霧』 ヴィクトール・フランクル ほか

1人1台のタブレット



市川学園では2017年度より、中学3年次から1人に1台タブレットを貸与し、さまざまな場面で活用しています。たとえばクラウドサービス「Classi」を活用して学習記録をつけたり、文化祭・修学旅行・合唱祭の委員が情報を共有してプロジェクトを進めたり、文書ファイルを送受信したりと、生徒の自主的な活動のサポートツールとして、市川学園での学びに欠かせないものとなっています。

《活用例(一部)》

英語:ネイティブスピーカーによる、マンツーマンでのスピーキングトレーニング

理科:実験の様子や装置を動画・写真撮影をして試験前の復習に活用

社会:論述問題の構想メモをカメラで撮影させて、黒板に投影して、クラスで検討・分析

土曜講座

土曜日の午後15時に各界の第一線で活躍されている有識者を講師に招いて開講します。

《2023年度の土曜講座一例》

■目標を持って、夢は必ず叶う。-私の外務省人生- 伯耆田 修先生 (前在ポルビア日本国大使館特命全権大使(OB 高28回))

■「感動を創る」-あるホテルマンからのメッセージ- 清原 當博先生 (元ホテルオークラ社長)

■人体影響評価の未来 -薬からマイクロプラスチックまで- 酒井 康行先生 (東京大学大学院工学系研究科・化学システム工学専攻長)

■宇宙船の研究のはなし -研究失敗談を含む- 大門 優先生 (JAXA 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 研究開発部門 主任研究開発員(OB 高48回))

■指揮者、その未知なる世界を知る… 堀 俊輔先生 (指揮者)

大切な仲間と刻む 貴重な時間



「第三教育」を極め、活躍する達人たち

運動部

硬式野球／軟式野球
卓球／バスケットボール
バレーボール／剣道
陸上競技／硬式テニス
水泳／サッカー／相撲
ラグビーフットボール
ハンドボール／スキー／山岳
ソフトテニス／応援／体操

文化部

英語／数学／文芸
生物／物理／化学
写真／社会／美術
音楽／茶道／調理
吹奏楽／オーケストラ
地学／演劇／書道
軽音楽／鉄道研究
囲碁・将棋

同好会
愛好会

クイズ研究
鹿島神流武道
ギター
インターアクト
かるた

部活動動画
《運動部編》



部活動動画
文化部
《同好会・愛好会編》



硬式野球部 内進生 千葉大学医学部医学科
中澤 恭平さん

私は文武両道を目指して高校生活を過ごしました。何事もやるなら手を抜きたくない性格で部活も勉強も全力で取り組みました。部活は高校3年生の7月まで硬式野球部に所属していました。どうしたら強くなれるのかをチーム全体で考え、実践を繰り返しながら最終的に最高のチームを作ることができました。勉強では中学3年生から高校3年生までの4年間選抜クラスに在籍していました。部活と同様にどうしたら短い時間で効率よく勉強できるかと試行錯誤を繰り返し最後には第一志望校に合格することができました。結果として部活も受験勉強も全力でやって最高の結果で終わることができました。こうして私が部活と勉強を両立できたのは周りの先生、友人のおかげだと考えています。先生方や友人からは多くの刺激を受けたり、たくさん支えてもらいました。市川学園での学校生活で素晴らしい先生方や友人たちと巡り合えたことが一番の財産です。

Master

国際力

GLOBAL EYES! 21世紀の国際人育成

キーワードはアクティブラーニング。特徴は「英語で学ぶ」。いずれの研修も午前中は少人数でのディスカッションやプレゼンテーション、午後はフィールドワーク(体験学習)とリフレクション(振り返り)を行います。さまざまなテーマへのチャレンジを通じて国際人としての第一歩を刻みます。

国際研修動画



2023年度海外研修	
シンガポール(ドミトリー泊 7日間)	中学3年 40名
Boston & Dartmouth (アメリカドミトリー泊 12日間)	高校1・2年 20名
New Zealand(ホームステイ 15日間)	中学3年・ 高校1年 35名

国際教育プログラム
●市川&神田外語大学共催 グローバル・イシュー探究講座 高校1・2年
●WWL FOCUS 高校1・2年
●Global Studies Program 高校1・2年
●Double Helix Translational Medicine 高校1・2年
●Double Helix 市川×鷗友 高校1・2年 (言語学・医学・統計学・歴史学)

科学力

第3期・5年目を迎えたSSH

市川学園はスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受け、15年目を迎えました。2009年度からの10年間(第1、2期)で得られた成果をもとに、研究開発を深化させ、さらに多くの取り組みを展開していきます。

中学から高校にかけて全学年で、実験を軸とした学習活動を行っています。その中で、学習の取り組み方法や自然科学の探究方法などを体験しながら学んでいます。高校2年次には理系生徒全員が課題研究に取り組み、その中で課題発見、実験デザイン、データ分析など多くのことを体験します。近年は、課題研究をSDGsの考えに基づき、社会貢献につなげることを意識しながら、自分の研究成果を発表します。

数学博物館は、3次元・4次元立体模型、円錐曲線など、数学を見て、触って、体験することができる部屋になっています。



SSH研究テーマの一例

- 砂質土壌土における毛細管現象による水面上昇速度と砂の粒径の関係
- バナナの茎と綿繊維を用いた除菌ティッシュ用シートの作製
- アリがダンゴムシの交替性転向反応に与える影響について
- 玄武岩から溶出する鉄イオンの条件から考察される別府地域の酸性泉の生成過程
- 三角形の角のn等分およびその外接円の弧との関係
- Pythonを用いた雪結晶のフラクタル次元解析

「第三教育」を極め、活躍する達人たち



写真部 内進生 東京工業大学物質理工学院
河原 菜々子さん

市川学園は様々な課外活動やプログラムを紹介してくれるので、興味のあるものを見つけ挑戦しやすい環境です。私は積極的な性格ではありませんでしたが、たくさんの紹介があったからこそ一つだけでも挑戦してみたいという気持ちが湧き、中学生の時からいくつかの課外活動に参加しました。課外活動が大変で途中でやめたくなくなってしまうこともありましたが、先生方や先輩、友人たちに助けられながらなんとかやりとげることができました。中高6年間で情報、地学、生物などあらゆる分野の課外活動に参加したことで興味関心が広がり、将来の自分やどんな大学に行きたいかが見えていきました。市川学園には課外活動に力を入れている人、勉強と部活動を両立している人、学校行事に熱心に取り組む人などたくさんの人がいます。私はそのような環境の中で多くの刺激をもらいました。こうした経験は振り返るととても貴重で、今の自分を作っているように思います。

Master

表現力

Ichikawa Academic Day

市川学園では、多くの生徒たちが国際研修や国内研修・各種コンテストに参加し、幅広い体験をしています。

各自が自分の体験を発表する機会として「Ichikawa Academic Day」を開催しています。

2022年度発表一例

- 激動のハネダ～新線は本当に必要か?～
- ボーカロイド音楽理論
- “未来を切り開く”法教育ゼミ～自由で公正な社会のために～
- 360°視点に対応した立体映像表示器の開発
- 化粧品広告から読み取る女性の戦争
- 市川学園内のゼミについて
- What is Big History?



教養力

LAゼミ(リベラルアーツゼミ)

高校2年次では、文系生徒が主体的に学ぶゼミ形式の少人数授業(LAゼミ)を行っています。1テーマ10回のゼミを前期・後期どちらかで1つ受講し、金曜日の午後、2時間連続で学びます。英語・社会・芸術分野などのユニークなテーマを、受講者が深く掘り下げます。一人ひとりが調べた成果を発表し、議論することで、思考力・判断力・表現力を鍛えます。

2023年度LAゼミ 一覧

- 核戦争の危機について英語で学び、考えよう
- World History Projectで世界近現代史を学ぼう
- “21世紀版「時事問題」ゼミ”(通称「BON地理」)
～新聞記事を読み込んで、「真実」を探る～
- 近現代詩の解釈と鑑賞 ～読書会形式～
- “未来を切り開く”法教育ゼミ ～自由で公正な社会のために～
- オペラ、その魅惑の世界 ～秘められた謎を探る～
- 学びの技術を探求しよう ～スポーツの上達法が勉強にも通ずる～
- 刀剣の魅力 ～武器として、そして美術品として～
- 英語プレゼンテーション
- 課題研究 ～文系編～
- 認知心理学入門
- 英語でストーリーテラーになろう

市川アカデメイア

リベラルアーツ教育の一環をなす「市川アカデメイア」は、高校2年生を対象とした選択制の「対話型セミナー」です。人類の知の遺産である哲学や社会科学などの古典をテキストとし、これらを教わるのではなく、参加者同士の自由な発言による対話の構築によって古典への理解と教養を深めます。また、対話を通して表現力やコミュニケーション能力も磨きます。全セミナー終了後にはテキストから一作品を選んで論文を執筆します。

2023年度市川アカデメイア実施講座

- 古典との対話へ～Why don't we have a dialogue?～
①アリストテレス「形而上学」 ②オルテガ「大衆の叛逆」
- 近代哲学の光彩 近代哲学の鼻祖デカルトの合理論とルソーの思考実験
①デカルト「方法序説」 ②ルソー「人間不平等起源論」
- ヘレニズムとヘブライズム
西欧思想の二大源流をなすギリシア哲学とイスラエル宗教
①プラトン「クリトン」 ②旧約聖書「イザヤ書」
- 哲学・思想の「ものがたり」 追遠する古代東洋哲学と文豪が描く夢の軌跡
①荘子「荘子」 ②ドストエフスキー「おかしな人間の夢～空想的な物語」
- 現代への飛翔 社会科学の古典的名著とリンカーンの歴史的演説
①M・ウェーバー「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」
②E・フロム「自由からの逃走」
- Rhetoric in Europe and America
シェイクスピアの名作とリンカーンの歴史的演説(英文)
①William Shakespeare " JULIUS CAESAR " (MODERN ENGLISH VERSION)
②Abraham Lincoln "The Gettysburg Address "

課外活動

第三教育を实践する課外活動 ～他流試合のススメ～

市川学園には「授業」「特別活動(行事)」そして「課外活動(自主活動)」の三本柱があります。課外活動は自分の意志による活動であり、日々の学びの中で得た知識を活かす、実践の場でもあります。ポジティブにやってみよう、見てみようという好奇心、活動を通じ、新しい世界を知り新しい友人を作り、楽しむことで人生の見えない資産となります。

2022年度課外活動実践例

- 日本地学オリンピック本戦
- NHK放送コンテスト 全国大会出場
- 高校生サイエンス研究発表会 ノーベル優秀賞
- 第12回 高校生バイオサミット 2022 審査員特別賞
- 全国高校生ポケモンユナイト甲子園 全国優勝
- 第15回高校生模擬裁判選手権 優秀賞
- WSC junior・senior Yale大会出場権獲得
- YouTube甲子園2022夏 2023春 入賞
- 第10回科学の甲子園ジュニア全国大会 総合7位 工作2位
- 第34回新美南吉童話賞 自由創作部門 中学生の部 優秀賞
- 日本言語学オリンピック2023
- JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022
- 第8回高校生国際シンポジウム 植物学部門 優秀賞
- 第10回 日経「星新一賞」ジュニア部門
- 第23回 日経STOCKリーグレポートコンテスト 入選
- 第6回 徒然草エッセイ大賞 中学生の部

「第三教育」を極め、活躍する達人たち



高校3年生
衛 千尋さん

私は高校2年生からSSHの取り組みで、「バナナの茎と綿繊維を用いた除菌ティッシュの作製」という研究をしました。廃棄量が問題となっているバナナの茎から抽出される「バナナ繊維」を用いて、アルコールフリーで環境に優しい除菌ティッシュを作製し、様々な観点で評価しました。この研究は「高校生国際シンポジウム」や研究コンテスト「Q-1～U-18が未来を変える★研究発表SHOW～」で発表しました。専門家の方々から多くのアドバイスをいただいて、貴重な経験になりました。これらの大会を通じて、自分の研究に対する気持ちとこの分野に関する興味が一層深まったと実感しています。

Master



高校2年生
神林 咲希さん

私はビジネス系の大会に興味があり「マイナビキャリア甲子園2022」に、他校(鶯鳴、吉祥女子、南山)の生徒たちと4名でチームを作り参加しました。この大会は、選んだ会社(私たちはセコム)のテーマに沿った、自分たちのビジネスプランを発表する大会で、今大会には全国から8,959名、2,318チームが参加しました。ほぼ毎日の電話での会議は大変でしたが、この大会を通し、仲間と協力する大切さ、自分の意見を臆せずに伝える大切さなど、今後社会で活躍する上で大事になる力を学ぶことができました。優勝できなかったのは悔しいですが、審査員特別賞(準優勝)をいただくことができ、達成感を感じています。

Master

人間力

行事・クラブ活動を通じて成長する 建学の精神に則ったリーダー育成を目指す

生徒たちは、数多くの行事・クラブ活動を通じて、仲間と一つの目標に向かって協力し人間的に大きく成長します。

道徳の授業では、①自ら判断し、積極的に自己を生かす姿勢を養う、②生徒相互の学び合いや多様な考えに触れることで、思いやりや他者理解を含めた豊かな人間性を育む、③「SNS利用と情報モラル」「防災安全」「生命倫理」「キャリア教育」等の現実的課題に対し、バランスの良い道徳教育を展開し、必要な倫理観を培う等を重点施策として推進します。



演劇祭の様子



「第三教育」を極め、活躍する達人たち



水泳部 高入生 京都大学法学部
李 暁静さん

私は市川学園で部活と勉強を両立させることができました。中学時代は吹奏楽部に所属していましたが、高校では誰かをサポートする経験をしたと思い、水泳部のマネージャーになりました。高入生ということもあって新しい環境に馴染むのに少し時間を要しましたが、尊敬する先輩や仲良くしてくれた同輩、自分を慕ってくれた後輩に恵まれて、充実した高校生活を送ることができました。実際、部活と勉強を同時にこなすことはとても大変でした。私は学校外で勉強することが多かったですが、モチベーションを高めるために第三教育センターを時々利用していました。ここは自習室に比べて開放感があり、受験に向けた勉強だけでなく、学年問わず読書や趣味の勉強をしている人も多いため、自分の視野を広げられると同時に学習意欲も刺激されました。市川学園は施設面でも勉強面でも環境に恵まれているので、自分に合ったスタイルを見つけて高みを目指していけるとと思います。

Master

論理的思考力・記述力

アカデミック・ライティング

論理的思考と記述力を育てる ～求められる「論理的文章を書く力」～

21世紀を生きる生徒たちは、自らの考えを相手に伝える表現力がさらに求められます。しかも、単に語るのではなく論理的な思考や議論ができる力が必要です。この「論理的に考え、それを伝わりやすい文章で表現する」スキルが「アカデミック・ライティング」です。

市川学園は、「読めて、書ける」を目指す国語・英語教育を中心に、「課題を設定する力」、「情報を正確に受け取る力」、「それを解釈・分析する力」、「自分の考えをまとめ・伝える力」を育てます。特に、国際研修に参加した生徒は、研修終了後にアカデミック・ライティングの手法で日本語と英語でエッセイを書き、エッセイ集にまとめます。



「第三教育」を極め、活躍する達人たち



物理部 内進生 東京大学理科一類 帰国生
木村 航成さん

市川学園には、自分がやりたいことに挑戦できる環境が整っています。熱心に自分の好きなことに打ち込む生徒や、勉強面で切磋琢磨しあえる生徒がたくさんいて、自分も頑張ろうという気持ちになりました。また、先生方には学業やそれ以外の活動でも何度もお世話になりました。私は中学の頃から、自分の興味のある勉強、部活、委員会、課外活動に取り組みました。全て自分のやりたいことでしたし、学校からのサポートのおかげで両立することができました。特に頑張ったのは、SSH課題研究やビジネスプランコンテストです。友人や先生方との話し合いを通して、最初は漠然としていたアイデアを形にすることができました。市川学園では、失敗してもそこから学んで次に活かせば良いという考えがあり、6年間で自分もとりあえず挑戦してみようという考えをもてるようになりました。受験勉強においても、この経験が最後まで諦めずに頑張れた理由だと思います。市川学園で学んだことを活かして、これからもやりたいことに積極的に挑戦したいです！

Master

進学実績

自己実現のための進路指導

市川学園では人間形成と真理追究の場である日々の学習の延長線上に進路開拓があり、大学入試があると考えています。SSH指定校となったことを契機に理数教育を通して優れた科学技術を探究する人材の育成にも力を注いでいます。加えて週6日制の授業による質・量ともに充実したカリキュラムに基づき、ただ漠然と大学合格を目指すのではなく、自分の将来像に根ざした選択をすべての生徒ができるよう進路指導を行っています。

大学入試合格者数 () 現役合格者数

国公立大学 180名

東京大学	15(9)	京都大学	7(7)	東京工業大学	17(13)	一橋大学	9(6)	北海道大学	6(5)
東北大学	12(10)	大阪大学	3(3)	九州大学	2(1)	千葉大学	35(25)	筑波大学	17(13)
東京学芸大学	4(4)	東京藝術大学	1(1)	東京外国語大学	5(5)	横浜国立大学	5(4)	神戸大学	2(2)
お茶の水女子大学	3(3)	国際教養大学	3(3)						

医学部医学科 50名(国公立大学 20名)

北海道大学	1(1)	弘前大学	1(0)	秋田大学	1(1)	山形大学	2(1)	筑波大学	2(1)
群馬大学	1(1)	千葉大学	6(5)	山梨大学	1(0)	香川大学	1(1)	大分大学	1(1)
福島県立医科大学	2(1)	京都府立医科大学	1(1)	獨協医科大学	1(0)	国際医療福祉大学	5(1)	北里大学	2(0)
杏林大学	2(1)	順天堂大学	2(0)	昭和大学	1(0)	帝京大学	1(1)	東海大学	1(0)
東京医科大学	1(1)	東邦大学	4(1)	日本医科大学	4(1)	聖マリアンナ医科大学	1(0)	藤田医科大学	1(0)
防衛医科大学校	4(2)								

難関私立大学

慶應義塾大学	105(86)	早稲田大学	140(112)	上智大学	89(74)	東京理科大学	233(165)	明治大学	188(136)
--------	---------	-------	----------	------	--------	--------	----------	------	----------

海外大学

Cascadia College

「第三教育」を極め、活躍する達人たち



英語部 高入生 東京大学文科三類
古川 深月さん

市川学園は学びに積極的な生徒が多く、先生方も優しく協力的で、何にでも挑戦しやすい環境です。第三教育センターや自習室のような学習設備が整っていることに加えて、先生と生徒の距離が近く、やってみようと思うことについて気軽に相談することができます。私自身も、市川学園が開催する哲学対話ゼミ「市川アカデメイア」で哲学に興味を持ったのをきっかけに、日本倫理・哲学グランプリに挑戦して入賞することができました。また高校の特色として内進生と高入生が混ざるといことが挙げられます。ある種別世界の道を歩んできた人たちが互いに関わりを持つことは他人への理解を深めることにも繋がることでしょう。

市川学園には沢山のチャンスがあります。皆さんもぜひこの環境を生かし、新しいこと、困難なことにも自ら一歩踏み出して、様々なことを経験してください。

Master



オーケストラ部 内進生 東京藝術大学音楽学部楽理科
木村 美晴さん

私は中高を通じてオーケストラ部に所属し、高校2年次にコンサートミストレスとソリストを務めました。音楽や楽器が大好きで練習熱心な仲間にも恵まれ、自分も負けていけないという一心で努力を続けました。個人でもヴァイオリンのコンクールに挑戦し、日本クラシック音楽コンクール全国大会2度出場などの結果を残すことができました。音楽以外では中学2年次に科学の甲子園ジュニアに参加し、チームで全国大会に出場しました。高校3年生の12月までは一般大学に進学するつもりでしたが、音楽を専門的に学びたいという夢を諦めきれず、受験まであと2か月のタイミングで志望校を変更し、東京藝術大学の楽理科に合格しました。急な志望変更にもかかわらず、私の話を聞き応援してくださった先生方のおかげで、受験勉強を頑張ることができました。

市川学園に入っていなかったら、切磋琢磨できる友人や温かい先生方に出会うこともなく、音楽にここまで打ち込むことも、このような進路に進むこともなかったと思います。ぜひ皆さんも市川学園でやりたいことを見つけてください！

Master